

# 雑草防除作業は “プロ”にまかせるという選択もあり!

除草作業は、優先度は低いものの、怠ると作物に悪影響が及ぶ作業だ。  
除草作業になかなか時間を割けない農家は、  
除草のプロ集団「西日本グリーン販売株式会社」に委託してはいかがだろう。

photo&text: Yoshiko Ogata



雑草対策をプロにまかせて  
“時短”と“安心”を  
得られました!

## 営農らくちんサービス [除草作業サービス]

「営農らくちんサービス」は、農家の代わりに除草作業・農薬散布・施肥作業などを行うサービス。そのなかの「除草作業サービス」では、まずは担当者が農場を訪問し、雑草の種類などを確認。その後、草種、ドリフト対策などを考慮した見積もりを経て除草作業が行われる。作業後、10日～14日以内に担当者が農場を再訪問し、作業の効果をチェック。効果が現れていない場合は、再度、除草作業を行う(※)。※再度の除草作業は、1回まで

価格:2万5000円～/1000㎡(参考価格)

### 》サービスの流れ



# プロがオススメする 除草アイテム

## 難防除雑草に強く畦にも最適！



BASFジャパン株式会社  
バスタ®液剤

イネ科、広葉、一年生など、ほぼすべての雑草に高い効果を示す。また、薬剤が直接かかった部分のみ枯らすため、根は枯れず、畦畔の強度が保たれる。抑草期間が長く、省力化に大きく貢献するのも特徴。地面に落下した有効成分は、土壌微生物によって分解されるため、環境にも優しい。

有効成分：グルホシネート 18.5%

## 雨にも強い！ 強力な浸透力で根まで枯らす



日産化学株式会社  
ラウンドアップマックスロード

米国モンサント社の特許技術「トランゾーブテクノロジーII」に磨きをかけ、活性成分のさらに強力な吸収・移行力を実現した製品。土壌に落ちて自然物へと分解されること、散布1時間以後であれば降雨があっても効果が減少しないことなどが特徴。また、ULV5ノズルを使用すれば、散布液5Lでおよそ1反の除草作業ができる。

有効成分：グリホサートカリウム塩 48.0%

## 雑草の発芽を抑え、除草作業の省力化に



アグロ カネシヨウ株式会社  
カンロン粒剤6.7

発生している雑草を枯らす作用に加え、種子の発芽を抑える作用も備える製品。秋や冬に散布すれば、初夏まで雑草の発生が抑えられるスグレモノだ。水田畦畔に使用した場合、田植え前後の草刈り作業が省かれるというメリットも。また、土壌への吸着力が高いため、斜面で使っても下方へ流れにくい。

有効成分：DBN(ジクロベニル) 6.7%

## 使用場面に応じて使い分けが可能



シンゼンタジャパン株式会社  
タッチダウンiQ&ブリグロックスL

高濃度の活性成分が有効に働き、防除が難しい雑草にも優れた効果を発揮するのがタッチダウンiQ。2種類の界面活性剤により、有効成分がすみやかに浸透し、雑草の根まで枯らす。一方のブリグロックスLは、散布後一日で効果を実感するほどの、スピーディな働き目を持ち味とする。また、雨に強く、付着した部分だけを枯らす。

有効成分(タッチダウンiQ):グリホサートカリウム塩 44.7%  
有効成分(ブリグロックスL):ジクワットジプロミド 7.0%、パラコートジクロリド 5.0%

## 抜群の遮光性で、雑草の発生を抑制

株式会社白崎コーポレーション  
防草シート ウィードストッパー

防草・防根とは、雑草の伸長と繁茂を制御する手法。高い遮光性と、高い貫通抵抗力を備えた構造により、従来の織物製のシートでは抑えることができなかった強壮雑草もしっかりと抑制。「防草シート ウィードストッパー」は、2層構造によりおよそ10年の耐用年数を実現。遮光率99.9%以上で、あらゆる雑草を防除することができる。

# 除草作業サービス導入レポート



K.ファーム株式会社 片原啓之さん

「現在、およそ40ヘクタールの圃場を所有しています。雑草が繁茂する夏場を中心に、除草作業に苦戦していましたが、「営農らくちんサービス」を導入後、負担が一気に軽くなりました」。

## 夕

マネギの産地として名高い兵庫県・淡路島。この地で2013年に創業した「K.ファーム」は、高品質なタマネギやキャベツの生産・販売に加え、タマネギを使った六次産業化商品を展開する企業だ。代表の片原啓之さんは、日々、圃場の管理から出荷管理、取引先との打ち合わせまで、幅広い業務を担当。社員やパートスタッフの手を借りつつも、多忙な状況に追い込まれがちだという。

こうした状況を改善するため、以前より片原さんは、業務の効率化につながる農業資材やサービスを積極的に導入してきた。そんな片原さんが、昨夏、必要性を実感

したのが、「営農らくちんサービス」の除草サービスだ。その背景や感想を、詳しくお話をいただいた。「夏場は、畦にびっしりと雑草が生えます。忙しい合間をぬって刈払機で除草していましたが、雑草の成長スピードが早いので、到底追いつきません。近隣の農家から「雑草に害虫がわく」と苦情が入ることもありました」。

収穫や出荷に比べ、除草は優先度の低い業務。また、同社は慢性的な人手不足でもあった。「除草にかける時間も人手も足りず困っていました。が、「営農らくちんサービス」で、状況が改善されました。除草作業を代わりに

行ってくれるので、こちらの負担が減ったのはもちろん、商品企画や営業など、収益拡大につながる業務に時間を割くことができました」。

「西日本グリーン販売株式会社」は、除草剤などの農薬の販売も手がける企業。それぞれの除草剤と農薬がもつ性質や効果に精通していることから、ケースバイケースの対応ができるのが、同社の強みだ。代表を務める坂本孝利さんは、こう説明する。

「『タッチダウンiQ』と、特性を生かした使い分けや抵抗性などを考慮してローテーションを提案します。また発芽抑制効果のある『カンロン』と、『防草シート』を施せば、さらに後々の手間を減らすことができます。弊社はそれぞれの農家様のご希望や圃場の状況に合わせて多様な提案が可能です」。

加えて、除草剤の散布後、効果があつたのを確認してから費用を請求する点も、同社の特徴だ。「営農らくちんサービス」の除草サービスは、確かな知識を身につけたプロが手がける、良心的なサービス。日々の作業を取捨選択したい農家は、要検討だ。

